

# <プロセスレコード>

## 1. プロセスレコードの概要

プロセスレコードとは、介護現場における対人関係、特に介護職員と利用者との相互作用に関する文章による記録のことです。元々は看護師の患者との人間関係の向上として使用されはじめました。

## 2. 目的

- ① 他者との関わりをふりかえり、コミュニケーション上手になれるよう、全職員で取り組みます。
- ② 上手に書けなくても構わないので、記入例を参考にして「誰かとうまく関わった場面」あるいは「誰かとうまく関われなかった場面」を思い起こして、文字にしてみてください（なぜうまく関わったか？あるいはなぜうまく関われなかったか？を考えることが大切です）。

## 3. 使い方

- ① 提出していただいたプロセスレコードは研修メンバーで輪読し、お互いに参考にできる部分を探します。

## 4. 提出方法と締切

- ① 提出先：プロセスレコードをできればワードで記入してください（手書きでも構いません）  
記入用原本を施設の PC の共有フォルダに入れておきます。  
不明な部分があれば、担当 \_\_\_\_\_ までお願いします。
- ② 提出締切：次回研修まで（部署ごとに集めます）

## 5. 記入の仕方

- ① 気になる利用者とのある日の場면을忠実に再現し、記入してください。  
（記入するときには、利用者は実名で記入してください）
- ② 利用者の基本情報（年齢、性別、病名、BPSD）を記入してください。
- ③ 以下の事柄について、番号をつけて時系列に記入していきます。
  - ・相手(関係者)の言動・行動・状況 …利用者や職員など、関わりの相手の言動
  - ・自分がその時, 感じたこと, 考えたこと…相手の言動を見て思ったこと、感じたこと
  - ・自分の言動・行動 …自分がその時感じたことに従って、どのような言動を行ったか
  - ・考察・評価・検討事項…何か特記事項があればここに記入します。番号をつけなくて良いです。
- ④ 記入例では①から⑧まで記入されていますが、これよりも多くても少なくとも構いません。ひとつのエピソードの始まりから終わりまでを時系列で記入して下さい。

## プロセスレコードの記入例①

所属：	氏 名：A		
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">場面・状況について</div> 日時：    年    月    日 (    )            時    分頃    天候：			
【 場所 】    ユニットの食堂 【 主な登場人物 】 T様 【 場面・状況 】 食事中に車いすを自操したため「薬、まだ飲んでないよ」と声を掛けたが、本人は実はトイレに行きたくて動きだしていたことを知る			
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">この場面・状況を選んだ理由</div> 食事後は自分から動くことはあまりなく、本人はトイレに行きたくて動いたのに理由を聞かず止めてしまったため			
相手(関係者)の 言動・行動・状況	自分が <u>その時</u> 、 感じたこと、考えたこと	自分の言動・行動	考察・評価・検討事項 <small>(後から気がついたこと・考えたこと、検討すべきこと)</small>
①T様がブレーキを外し、すっと動きだしはじめる。	②居室へ戻るのかな？と思った。	③「Tさん、まだ薬のんでないかもう少し待ってて」と声掛けした。	T様は便をしたくてトイレに動きだしていたのに止めてしまった。
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">このことから学んだこと</div> 何をしたいのか、どこへ行きたいのか、理由を聞く声掛けをする必要があることにあらためて気づくことが出来ました。			

## プロセスレコードの記入例②

所属: 介護	氏名: Yさん		
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">場面・状況について</div> 日時: 年 月 日( ) 時 分頃 天候:			
場所: 食堂 主な登場人物: Oさん 89歳女性、認知症あり 場面や状況: 夕食前、水分介助するためOさんへ声をかける。急にスタッフの腕を掴んだり、つねったり、「バカ！」などの暴言あり			
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">この場面・状況を選んだ理由</div> 普段から、水分介助の時に限らず、起床介助や入浴の際などにもスタッフの腕を掴んだり、叩いたりする行為見られるため実践してみたかった			
相手(関係者)の 言 動・行動・状況	自分がその時、 感じた こと、考えたこと	自分の言動・行動	考察・評価・検討事項 <small>(後から気がついたこと・考えたこと・検討すべきこと)</small>
①日中普段から急に大きな声を出したり、スタッフの腕をつねる行為見られる  ④スタッフと目があい、にこっと笑顔が見られる  ⑦Oさんは、笑いながら私の体をさすったり、自分の頬にもって行ってあてていた	②スタッフのことを怖がり自分を守るためにしているのではないか  ⑤自分と同じ目線に、笑顔の人が現れ、敵ではないと思ってくれたのかな  ⑧声かけだけでなく、相手に触れると言うことも大切なんだと改めて感じた	③椅子に座り、目線を合わせ「Oさん、こんにちは」と声をかける  ⑥「Oさん」と声をかけながらOさんの手に触れてみた	後から声をかけたり、急に体に触れるのではなく、まず目線を合わせて自分の存在を確認してもらい、ゆっくり体に触れることで、相手にも落ち着いた気持ちになってもらえると思った。
<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">このことから学んだこと</div> 同じ目線ではなく、自分よりも高い位置や、視界に入っていない場所から声をかけられると言う事は、私たちが思っている以上に怖いと思わせてしまうのかもしれない。 声をかける際は、必ず目線を合わせ自分を見てもらってから声掛けすることを心がけようと思う。			